

授 業 目 名	物理療法学		授 業 形 態	講 義
			配 当 学 期	2 年(前期)
担 当 教 員 名	平塚将嗣、落合慶之、水谷貴佐		単 位 数	1 単 位
			時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>[授業概要] 理学療法士の治療手段の1つである物理エネルギーの人体に及ぼす生理学的影響を理解し、効果、適応、禁忌を学ぶ。</p> <p>[学習目標] ・障害に対して、各種の物理的エネルギーがどのように作用し、治療効果を発揮するかを理解する。 ・各種物理療法機器の適応疾患と禁忌の理解は必須。</p>			
授 業 回 数	授 業 の 内 容			
第 1 回	物理療法総論(物理療法の歴史・分類)	[平塚]		
第 2 回	物理療法の対象となる病態①	[落合]		
第 3 回	物理療法の対象となる病態②	[落合]		
第 4 回	温熱療法の基礎、表在性温熱療法	[平塚]		
第 5 回	深部性温熱療法	[平塚]		
第 6 回	超音波療法	[平塚]		
第 7 回	寒冷療法	[平塚]		
第 8 回	電気刺激療法 S-D 曲線の測定	[落合]		
第 9 回	電気刺激療法 総論	[落合]		
第 10 回	電気刺激療法 TENS 実践	[落合]		
第 11 回	電気刺激療法 TENS 総論	[落合]		
第 12 回	電気刺激療法 NMES 実践	[落合]		
第 13 回	電気刺激療法 NMES 総論	[落合]		
第 14 回	牽引療法・CPM・マッサージ療法	[平塚]		
第 15 回	水治療法	[水谷]		
評 価 方 法	小テスト(50%)、期末試験(50%)により評価する。			
教 科 書 参 考 図 書	<p>[教科書] エビデンスから身につける物理療法(羊土社)</p> <p>[参考図書] 物理療法学(医学書院)</p>			
履 修 上 の 留 意 点	機器を用いた治療手段であり、リスクを伴うので、生理学的機序・適応・禁忌・手技を確実に覚えてください。			
メ ッ セ ー ジ	なし			